

「この指止まれ！」

論説委員 紺野大樹

日々小論



取材で話を聞いているときや記者から届いた原稿を読んでいるとき、「おつ、なるほど」と胸にすんと落ちる言い回しや表現に出合うことがある。そうした内容は、時間がたつてもときどき思い出す。

「災害支援っていうのは『この指止まれ！』だよ」。1年と少し前、災害ボランティアについて男性が語った言葉も印象に残っている。

男性は31年前の阪神・淡路大震災の当時、公園で大鍋をかき回し、被災者に温かい食事を振る舞った。その大鍋を持って、東日本大震災や熊本地震の被災地にも駆けつけた。

そう、1995年は「ボランティア元年」と呼ばれる。「この指止まれ！」の声に呼応するように、1年間で全国から延べ137万人が集まった。避難所の運営支援、お年寄りの病院の送迎、猫の世話…。マンパワー

の偏りや被災者との衝突など失敗もあったが、多くの人ができることを見つけて動いた。

さて、そのボランティアが揺れている。昨年7月に始まった政府の災害ボランティア団体の事前登録制度だ。災害時の避難所運営の支援や物資の提供などを担える民間団体を募り、内閣府が審査して登録の可否を決める。大規模災害が発生すれば、都道府県知事が登録団体に「協力命令」を出せる。

スムーズな支援につなげるのが狙いだが、阪神・淡路を経験した団体からは国がボランティアを管理し、労働力のように捉える姿勢に反発が上がる。確かに新しい支援を生み出すのではないか、とも思う。

「この指止まれ！」

ボランティアにはこっちの方がよく似合う。

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 傍線部①の具体例を、本文中から1文で抜き出し、最初の3文字を書きましょう。

--	--	--

2 傍線部②はどんな制度かを説明した次の文の空欄に、本文中から適語を抜き出して入れましょう。

内閣府が

--	--	--	--	--

 や物資の提供などを担えるボランティア団体を募り、

--	--

 して登録するかしないかを決める。大規模災害が起きたときは知事が

--	--	--	--

 を出せる。

3 傍線部②について、ボランティア団体からどんな反発が上がっていますか。本文中から20字で抜き出し、最初と最後の3文字を書きましょう。

			～			
--	--	--	---	--	--	--

 捉えている。

4 命令されてするボランティアと自主的にするボランティアでは、その動きはどう違いますか。解答欄にあわせ、本文中から10字で抜き出して最初と最後の3文字を書きましょう。

命令されてするボランティアは命令されたことをするが、自主的なボランティアは

--	--	--

 ～

--	--	--

 動く。

NIEワークシートのこたえ（2026年2月12日公開）

◆ワークシート「ボランティアと命令(社会)」 2026.2.10付 朝刊 5面 解答

- 1 「災害（災害支）
- 2 避難所運営 審査 協力命令
- 3 国がボ ～ ように 捉えている。
- 4 できる ～ つけて 動く。